

答 市長

一定の関わりは必要であるとの認識はしていますが、民有地であるため慎重に対応せざるを得ず、社員寮の整備を契機に、今後の民間事業者における新たな展開に期待をしているところです。

問 新たな環境センターの整備についてはどうか。

答 市長

施設の設定、運営には地元区同様、周辺地域のご理解とご協力が重要と考えていることから、建設候補地の選定以降、周辺区・自治会様に対して「選定経過」や「今後の対応方針」について説明し、ご意見をお聴きしてまいりました。環境面や景観面についてのご懸念もお聞かせいただき、建設候補地として決定させていただいた段階で、お答えできる範囲内で、各課題につき市としての考え方をお答えしてまいりました。

今後も策定を予定しています施設整備基本計画の策定

段階の節目節目において、地元・周辺地域の皆様にご内容をお示しし、ご意見を伺いながら必要な場合は計画に反映してまいりますとともに、令和5年度から2か年にかけて生活環境影響調査を実施し周辺環境の保全対策にも反映します。

施設整備基本計画ではパブリックコメントを通じて広く市民の皆様のご意見をお聞きし、必要な場合は計画に反映してまいります。



問 近江今津駅周辺地域活性化についてはどうか。

答 市長

北陸新幹線の敦賀延伸を契機として、市内で唯一の特急列車の停車駅である近江今津駅周辺地域の活性化に向けて、令和2年度から取り組んでいます。今年度は官民連携の仕組みのもとで民間事業者等の積極的な参画が重要であることから、昨年11月には国土交通省主催のサウンディング型市場調査に参加し、本年2月にも市独自の調査を実施しました。調査結果の概要については公表をさせていただく予定です。

今後は、今津地域住民自治協議会をはじめ、多様な団体や事業者等の主体的な関わりによって、観光まちづくりの推進体制が組織化され、事業展開されていくことが望ましいものと認識しています。

問 敦賀市と高島市を結ぶ連絡道路についてはどうか。

答 市長

新たな道路構想は、日本海側と関西を結ぶ基幹道路と位置付けることができ、また、安全性の向上や時間短縮、産業や観光面などで幅広い効果が期待できますことから、本市にとつても重要な政策になるものと考えていますが、福井県側では、敦賀市と美浜町でそれぞれ異なるルートを構想されており、ことから、両市町の間においても更なる調整が必要と考えており、引き続き関係機関との意見交換を重ねながら、慎重に検討してまいります。

